

今野東議員、国会（参議院法務委員会）で 事件デッチ上げと不当解雇を追及



（加藤誠二さんの懲戒解雇は）働く者の権利が守られている国に、あってはならないこと

加藤誠二さん、美世志会の解雇と警察の捜査は不当だ！

12月11日、参議院法務委員会で今野東参議院議員（法務委員会委員）が質問に立ち、公安警察の捜査・えん罪事件と懲戒解雇の問題に対し、不当性を強く訴えました。この質問は、加藤誠二さんのデッチ上げ「窃盗事件」と「JR浦和電車区事件」に対する内容です。

今野議員は、本人が「窃盗」を強く否定し、さらに検察が起訴もしていない段階で、会社が一方的に判断し懲戒解雇処分を通知したことは、「働く者の権利が守られている国に、あってはならないこと」と、厚生労働省審議官に強く見解を求めました。厚生労働省は、解雇は労働者にとって大変な問題であり、それなりの理由がなければならないことであるという考え方を明らかにしました。

えん罪事件に関しては、「被害届を警察が作成するということは、捜査が警察に有利に展開される恐れがある」と、鳩山法務大臣に強く訴えました。

加藤誠二さん、美世志会への不当解雇・事件デッチ上げを許さず、職場から闘おう！